



## コンサルティングエンジニア連盟のみなさまへ

令和3年2月  
参議院議員  
足立敏之

コンサルティングエンジニア連盟の皆様には、日頃から大変お世話になっておりまして、心から感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの影響により、我慢の毎日が続いているところですが、1月7日(木)に政府の「緊急事態宣言」が発出され、13日(水)には対象区域が追加され、1都2府8県が対象となっています。なんとか、早期に収束させ、今年こそは発展の前ぶれを感じることで明るい年になることを期待したいと思います。

さて、我々が取り組んでいるインフラ整備について考えますと、毎年発生する大災害に「日本の脆弱性」を痛感せざるを得ません。昨年も、7月豪雨により熊本県を中心に80人を超える犠牲者を生む大水害が発生しました。脆弱な日本を立て直すため、ソフト対策とあわせて堤防整備やダムなどのハードによる事前防災が必要と改めて痛感しています。

一方、道路、空港、港湾などの交通インフラについても韓国と比較しても劣っている面が多いなど世界各国と比較して「貧弱なインフラの整備水準」となっています。

そうした課題を克服するために必要となるのは公共投資です。平成10年当時15兆円近くありましたが、民主党政権末期の平成24年には4.6兆円にまで激減し、政権交代により6兆円規模にまで戻っていますが、まだまだ十分ではありません。

年末に菅義偉総理より、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として15兆円を確保するよう指示があり、それを受けて令和2年度補正予算、令和3年度予算が閣議決定されました。皆様のご要望が認められたことにつきましては、私も安堵しておりますし、皆様のご支援のたまものと感謝いたしております。今後は、1月18日に開会した通常国会において、早期に可決成立するべく努力して参ります。

また、公共事業を着実に進めていくためには、建設産業の環境整備が不可欠であり、品確法による適正な予定価格・工期の設定、設計労務単価のアップ、発注の平準化、働き方改革の推進などの「質の確保」が「量の確保」とともに重要です。こうした課題の解決に向け、令和3年度も引き続き全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、コンサルティング連盟の皆様におかれましては、インフラ整備について引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

